

参議院選挙 1人区で自民党との一騎打ち構造をつくる

立憲民主党 代表 枝野幸男



枝野代表

退職者連合の政策制度要求は、皆さんが安心して年を重ねていける社会づくりにとって不可欠な要求であると思います。加えて今の日本にとって退職者連合の要望は、社会全体の活力に繋がる要望であり、若い人たちを含めて最優先の課題です。私たちもそのことに確信をもちながら前へ進んでいきたい。

国会の状況は目をおうばかりです。公文書の改ざんを始め、毎月の勤労統計に至るまで、嘘と誤魔化しの安倍政権。子どもじみた政権だと思っています。

国会中継など、ニュースにされていないところで安倍総理は、どんなにひどい答弁を繰り返している

か。多くの国民の皆さんは残念ながら知りません。私の子どもは小学6年生、男の子の子育て中です。小学校6年生のやんちゃな男の子に向かって「人のせいにするな、感情的にむきになるな、大きな声を出すな」言っています。日本の総理大臣は、小学校6年生並み。情けない状況です。

国会の中、残念ながら我々野党が一丸となっても数が足りません。しかしながら今年は統一地方選挙、参議院選挙がある。政治の流れが変わる年にしたい。そのためには、参議院選挙32ある一人区で自民党との一騎打ち構造をつくるのが大事です。小異を残しながら大同について頑張っていきたい。ここについては全く心配ありません。是非ご安心下さい。国民民主党の玉木代表とも社会民主党の又市党首ともしっかり確認をしています。ただ、勝てる候補者をどのようにするかについてもう一押しの仕事が残っている県があります。必ずいい候補者で一騎打ちの構図をつくりたい。

それぞれの地域においては、連合現役の皆さんと同じように退職者連合のみなさんには、さまざまな経験を生かして力強くご支援を頂いております。今年も是非、その力をよろしく願います。私たちも頑張ります。